

第4回教育委員会（臨時）議事録

1. 開 会

令和2年5月22日（金） 16時00分

2. 場 所

市役所本庁舎4階 401・402会議室

3. 会議に出席した委員

教育長 前川 修哉

委 員 酒井 克典

委 員 中村 貴子

委 員 垣内 敬造

委 員 山本 恭子

4. 会議に出席した職員

部 長 稲山 悟

次長兼教育研究所所長 酒井 宏

教育総務課長 中野 悟

学 事 課 長 森本 康幸

学校教育課長 尾松 直樹

東部学校給食センター所長 酒井 直隆

西部学校給食センター所長 石田 哲也

社会教育課長 小林 康弘

文化財課長 村上 由樹

中央図書館長 樋口 裕昭

田園交響ホール館長 小林 純一

こども未来課長 中筋 有香

総 務 課 長 波部 正司

教育研究所副所長 方山 直人

学校教育課指導主事 大野 圭一

教育研究所指導主事 酒井 美世子

教育総務課係長 田中 真紀子

教育総務課主事 河野 元秀

5. 議事日程及び議案

別紙の通り

6. 開会宣言

16時00分

7. 会 期

（自）令和2年5月22日

（至）令和2年5月22日 1日間

8. 会議録署名委員名簿

酒井 委員

9. 閉 会

17時00分

前川教育長	日程第 1、会議録署名委員は 1 番酒井委員とする。
前川教育長	日程第 2、会期は令和 2 年 5 月 22 日、本日 1 日間とする。
前川教育長	日程第 3、報告事項に移る。報告 1 の「新型コロナウイルス感染症による市立学校園の臨時休業期間中の登校・登園可能日の設定について」教育総務課説明を求める。
中野課長・ 酒井次長兼教育研究所所長	《議案書に基づき説明》
酒井委員 酒井次長兼教育研究所所長	オンライン授業等に関する予算措置は補正予算に組み込まれているのか。また、組み込まれている場合はいつまでに実施する予定なのか。 オンライン授業等に係る学校側、教育委員会側の仕組みの整備はすでに終了しており、あとは、教員のパソコンから映像などを発信するためのカメラやマイク、ヘッドセットを補正予算で計上している。これによりシステムとしては整う。受信側の各家庭の情報機器環境を調査しており、これに応じて対策をとっていく予定である。本年度、GIGAスクール構想により、4 年生以上の全生徒に情報機器端末を配備する予定である。4 年生以上は、そちらを活用し、4 年生以下の下級生については、学校に配備しているパソコンなどを活用して対応していく予定である。
酒井委員 酒井次長兼教育研究所所長	三田市の取組が新聞に掲載されていたが、新型コロナウイルス感染症の第 2、3 波を想定して、情報機器の整備がされていない家庭へどのような配慮をしていくか、方向性を定めるべきであると思う。予算を伴うことであるので、総合教育会議などで市長部局とも協議をしなければならないと思う。 三田市の取組については、三田市教育委員会事務局へ聞き取りを行っている。参考にして、適切な対応ができるよう取り組んでいきたいと考えている。
垣内委員 酒井次長兼教育研究所所長	4 年生以上に配備される情報機器端末は自宅へ持ち帰って活用ができるということであるか。 学校に配備したものを各生徒に貸し出すというイメージであり、基本的には学校での活用を想定しているが、現在のような緊急事態では各家庭へ持ち帰って活用するための仕組みも考えていかなければならない。学校と家のネットワークの切り替えなど諸問題があるので、対応策も併せて考えたい。
垣内委員 酒井次長兼教育研究所所長	オンライン学習においては、各家庭の通信環境が最もネックになると思う。教育環境を整えるという観点では、教育委員会からの支援が必要であると思うが、これからは日常生活においては通信環境の整備が必須であると思うので、市長部局からの支援も妥当であると思う。市長部局と協議を行い、市としての対応をお願いする。 ご意見の通りだと思う。市としての対応ができるよう検討する。

中村委員	<p>市内のある小学校では、テレビ会議システムを利用し、家庭と学校を繋ぎ、朝の会を行って、健康状態のチェックなどを実験的に実施した。接続ができなかったのは、数人であったと聞いている。今回の実験を参考にして、現在実施中の調査と合わせ、対策をとりたいと思う。</p>
酒井委員	<p>アンケートの実施に感謝する。先日掲載された丹波新聞の記事内容と今回の報告内容が若干異なることが気になった。市民からの意見を真摯に受け止めて対応にあたってほしい。また、市民から不満の声が出てくるのは、情報発信の不足が原因であると思う。新型コロナウイルスによる休業措置等で不安になっている保護者に安心感を与えるような情報を積極的に発信してほしい。</p>
前川教育長	<p>先ほど説明いただいたが、教育委員会事務局として対応をしっかりとしているので、市民が不安にならないよう情報の発信に気を付けてほしい。</p> <p>新型コロナウイルスの影響で「丹波篠山の教育」の内容の見直しが必要であると感じる。情報機器の整備や学力保障など学校再開で注力しなければならないことの優先順位をつけて対応する必要があると思う。新型コロナウイルスの影響があると思うが、丹波篠山らしい教育を進めていけるよう方向性を示して、市民へも発信してほしい。</p>
酒井委員	<p>情報発信には改めて取り組んでいかなければならないと思っている。ただ、情報発信の際に注意しなければならないことは、人は情報に影響を受け、先入観を持ち、誘導されてしまうときがあるということである。情報発信も含め、スピード感を持って対応することは必要であるが、なんのためにスピード感を持って対応するのかという目的を見失わないようにしたいと考えている。子どもの成長スピードに合わせた教育を行いたいとも思っている。時代のスピード感に追いついていないという意見等があるかと思うが、しっかりと受け止めつつ教育行政としてやるべきことをやっていきたい。</p>
前川教育長	<p>先ほどの教育長の思いをぜひ発信してほしい。保護者も本質を捉えて教育を行っていることが分かれば安心すると思う。</p>
稲山部長	<p>日程第 4、協議事項に移る。協議事項第 1 号「市立学校園における臨時休業解除ならびに教育活動の再開について」教育総務課説明を求める。</p>
垣内委員 稲山部長	<p>《議案書に基づき説明》</p> <p>施設の再開にあたってマスク、消毒液等は足りるのか。</p>
酒井委員	<p>マスク、消毒液等については、5月26日の市議会において補正予算を提案する。議決いただければ学校も含めて当面の使用予定数が用意できる予定である。</p>
森本課長	<p>準要保護家庭など、マスクが手配できない家庭への支援等は考えているのか。</p> <p>要保護、準要保護家庭への特別な支援は検討していないが、先ほど稲山部</p>

<p>酒井委員</p> <p>森本課長</p>	<p>長から説明があったように、学校に緊急用マスクを配備するので、必要に応じ、そのマスクで対応いただくことになる。</p> <p>市として全てを支援することは難しいと思う。ただ、どうしてもマスクを用意できない子ども達には、できる限り配慮してあげてほしい。</p>
<p>前川教育長</p>	<p>2月末頃に行事や登校時に着用していない児童生徒等用として、各学校へ2万枚のマスクを配布した。補正予算にて用意する予定のマスクも併せて、各学校に一定数の備蓄マスクがあるので、もしもの際はそちらで対応できると考えている。</p>
<p>前川教育長</p>	<p>協議事項第2号「令和2年度の学校夏季休業期間について」学校教育課説明を求める。</p>
<p>尾松課長・大野指導主事</p>	<p>《議案書に基づき説明》</p>
<p>酒井委員</p>	<p>今後インフルエンザや新型コロナウイルスの第2、3波が予想され、流動的な対応が求められるので、一概にこの対応で良いとは言い切れない。児童、生徒、教職員の健康を確保することが必要であると思うが、余裕を持っておくほうが良いと思うので、夏休みは1週間程度で良いのではないか。行事の精査は必要であると思うが、行事は子ども達の学校生活に潤いを与えるものであると思う。</p>
<p>前川教育長</p>	<p>校長会で夏休みを1週間にする案を提案したが、小学1年生の体力面などから夏休みは2週間必要との意見が出された。また、行事の精査については、校長から新型コロナウイルスの影響で卒業式、入学式の練習ができなかったが、素晴らしい式を執り行うことができたとの意見があった。大人たちがお膳立てをしすぎて、子ども達の能力を甘く見すぎているように思った。行事の狙いや意義を捉え、普段の学校生活で補うことや、密を避ける種目等を子ども達に考えさせるなどの取り組みをして、時間短縮や能力の向上を図るので、夏休みを2週間確保してほしいというのが学校からの声であった。各学校園長と十分に協議をし、意見を尊重して今回の判断に至った。</p>
<p>中村委員</p>	<p>2週間の夏休みの設定は妥当であると思う。説明いただいたとおり、児童生徒の体力面などさまざまなことを考慮して、2週間は必要であると思う。ただ、ゼロ時間目から7時間目まで授業を行うというような詰込みはないようにしてほしい。</p>
<p>酒井委員</p>	<p>次年度に中学校へ進学する6年生は、授業の遅れを次年度に持ち越して対応できないので、1年生に合わせて夏休みを設定するのは疑問が残る。学校現場の声を尊重してということであるので、2週間の夏休みを実施していただければと思うが、新型コロナウイルス感染症の第2、3波を考慮して、オンライン授業に関する環境整備を早急に進めてほしい。</p>
<p>前川教育長</p>	<p>この状況はこれまでの取組を変える大きなきっかけであると思う。この一年間で、学校のあり方、授業のあり方、教員のあり方を専門家の意見等も聞</p>

	<p>きながら良い方向へ活性化していきたい。</p>
前川教育長	<p>協議事項第3号「令和2年度の園夏季休業期間について」こども未来課説明を求める。</p>
中筋課長	<p>《議案書に基づき説明》</p>
前川教育長	<p>日程第5、議案に移る。議案第1号「令和2年度5月（5/26）補正予算案を市長に提案することについて」教育総務課説明を求める。</p>
中野課長	<p>《議案書に基づき説明》</p>
前川教育長	<p>議案第1号の「令和2年度5月（5/26）補正予算案を市長に提案することについて」異議はないか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
前川教育長	<p>全員賛成で、議案第1号の「令和2年度5月（5/26）補正予算案を市長に提案することについて」を可決する。</p>
前川教育長	<p>それでは、第4回臨時教育委員会をこれで終了する。</p>